

# 平成21年度 【 学園研究費助成金<B> 】 研究成果報告書

学部名 文化情報学部

フリガナ ハナリ タカシ  
氏名 羽成 隆司

研究期間 平成21年度

研究課題名 複数色にたいする色嗜好スタイルの研究

## 研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	羽成 隆司	文化情報学部	准教授
研究分担者			
研究分担者			

## 1. 本研究開始の背景や目的等 (200字～300字程度で記述)

本研究は、各人が複数色に対して最も好きな色から嫌いな色までをどのように位置づけているかという、全体的な嗜好パターン（色嗜好スタイル）に着目し、これがどのように分類できるかを問題とする。本報では、高橋・羽成(2005, 2008)ほか、Visual Analog Scale(VAS)を用いた同一の手続きで収集してきたこれまでの色嗜好のデータを統合し、「好き嫌いのばらつき」の程度を基準にした色嗜好スタイルの分類を試みる。

## 2. 研究方法等 (300字程度で記述)

(1)調査対象者：大学生 1224名(男性 430名・女性 794名, 平均年齢 男性 20.0歳, 女性 19.7歳)。(2)手続き：質問紙上で、赤, だいだい, 黄, 黄緑, 緑, 青, 紫, ピンク, 茶, 白, 灰, 黒の12色名を呈示し, それぞれの好嫌度をVASで測定した。VASは「好き」と「嫌い」を両端とする線分で、「嫌い」側の端が0, 「好き」側の端が100となるよう数値化し, 各回答者の第1位色から第12位色までのVAS値を算出した。(3)色嗜好スタイルの指標:色嗜好の特徴を示す指標として, 回答者ごとに12のVAS値の平均, 標準偏差(好き嫌いのばらつきを示す), 最大値(最好色のVAS値), 最小値(最嫌色のVAS値), 偏好度(最大値と他の11色のVAS値との差の平均。最好色を他の色より突出して好む程度を示す), 偏嫌度(最小値と他の11色のVAS値との差の平均の絶対値。最嫌色を他の色より突出して嫌う程度を示す)を求めた。

### 3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

色嗜好スタイルを分類するにはいくつかの方法が考えられるが、ここでは、上記の指標のうち標準偏差によって調査対象者をスクリーニングしてみた。標準偏差の高いグループとして、「平均値 + 1SD」以上、低いグループとして「平均値 - 1SD」以下を抽出し、それぞれ標準偏差高群(208名)、標準偏差低群(195名)とした。群間の男女比に有意な違いはなかった。

標準偏差高群と低群の比較をすると、高群は中順位以降では VAS 値が 50 以下であるのに対し、低群は最嫌色以外のすべての VAS 値が 50 以上となっており、全体的に水準が高い。色嗜好スタイル各指標を群間で比較してみると、平均と最小値で低群の方が有意に大きかった。また、比較可能な指標である偏好度と偏嫌度の差を群ごとに見ると、高群でのみ両指標間に有意差が認められた( $p < .01$ )。さらに、各色の VAS 値を群間で比較したところ、ほとんどの色で低群が高群より高い水準にあるが、対象者全体の色別嗜好順位が 1 位と 2 位の黒と白のみ、高群が低群を上回っていた( $p < .01$ )。また、全般的に嗜好されにくい灰(対象者全体で 11 位)が、高群では 7 位と中順位であった。標準偏差低群は、嗜好順位の上位においては高群よりも VAS 値が小さいが、全体に高い水準で VAS 値がまとまっている。低群は「嫌いな色」がほとんどなく、まんべんなく多くの色を好む色嗜好スタイルと言える。一方、高群は非常に高い水準で好む色がいくつかある一方、半数近くの色を嫌いな方向に評価しており、中でも最嫌色の位置づけが明確である。したがって、各色に対する好嫌評価を明確に差別化し、とくに「嫌いな色」を際立たせる色嗜好スタイルとして特徴づけられる。

### 4. キーワード (本研究のキーワードを 1 以上 8 以内で記載)

① 色嗜好スタイル	② 標準偏差	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

**5. 研究成果及び今後の展望** (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著書名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他○名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。)

#### 公開した研究成果

##### 論文

羽成隆司・高橋晋也 複数色に対する色嗜好スタイルと個人の色認知特性. 日本色彩学会誌, 33(4), 319-326. 2009年12月.

##### 学会発表

羽成隆司・高橋晋也 色嗜好スタイル分類の試み. 日本心理学会第73回大会発表論文集, p. 659, 2009年8月27日.